

中学生の主張・作文が表彰されました

中学生の主張大会

第43回立川市中学生の主張大会が11月3日、たましんRIS URUホールで行われました。当日は3097編の中から選ばれた作品を、中学生が発表しました。主な入賞者は次のとおりです。《敬称略・各賞学校順》

- 市長賞 田島侑弥(二中2年)
- 議長賞 松下穂高(四中3年)
- 奥田有怜乃(九中2年)
- 教育長賞 笠原柊(五中3年)
- 丹波桜花(六中2年)
- 中学生審査員賞 野見山直子(三中3年)
- 中学校PTA会長賞 堀真優(二中2年)
- 青少年問題協議会会長賞 三島穂紀(一中2年)
- 森山

友貴(二中1年)、森下大雅(三中3年)、村上音葉(四中2年)、小林凜(四中3年)、遠藤優空(七中3年)、岡部史龍(八中1年)、水落はる香(九中3年)

税についての作文 市長賞 小幡麻桜(九中3年) 教育長賞 浅野薫海(九中3年) 税の標語 市長賞 小林紘珂(九中1年)

「税についての作文」「税の標語」表彰

次代を担う中学生の皆さんに税への関心と理解を深めてもらうことを目的としているコンクールで、市内の中学生が次のとおり受賞しました。《敬称略》

全国中学生人権作文コンテスト

中学生が人権尊重の大切さを考え、豊かな人権感覚を身に付けることを目的に行われる全国中学生人権作文コンテストで市

内中学生が次のとおり入賞し、立川地区人権擁護委員会による表彰式が行われました。《敬称略・各賞学校順》

- 東京都大会奨励賞(立川市長賞・立川地区人権擁護委員会最優秀賞) 木村知暁(七中2年)
- 東京都大会作文委員会賞(立川地区人権擁護委員会優秀賞) 三島穂紀(二中2年)
- 荒井大河(二中2年)
- 新田悠斗(四中1年)
- 多摩西人権擁護委員協議会会長賞(立川地区人権擁護委員会入選) 三村樹(三中2年)
- 佐々木浩実(五中2年)
- 石橋蒼介(七中2年)
- 江頭花梨(七中2年)
- 沼沢凜(七中2年)
- 立川地区人権擁護委員会佳作 田山由奈(一中2年)
- 米満結菜(六中2年)
- 橋本空(七中2年)



立川市人権作文表彰式の様子

国生活安全課市民相談係(528)4319

子育て世帯生活支援特別給付金(低所得・ひとり親)の申請をお忘れなく

国は、食料品等の物価高騰の影響を特に受けた低所得の子育て世帯・ひとり親世帯を見舞う

観点から、児童1人につき5万円を支給しています。また支給していない方で、新たに児童扶養手当を受給することになった方、住民税が非課税相当の世帯になった方などは、2月29日(木)「必着」までに申請が必要で、対象世帯や申請方法等、くわしくは市ホームページをご覧ください。

立川教育フォーラム

市教育委員会は、教育の充実と推進を図るため、保護者、市民、教職員が一堂に会して小・中学校の実践等を紹介する立川教育フォーラムを開催します。

市内小・中学校の児童・生徒による実践発表のほか、東京学芸大学教授の高橋純さんによる講演を行います。直接会場へ。時1月27日(土)午後1時〜4時 場女性総合センター1階ホール 問指導課・内線2497

はがき回収ボックスを設置します

家庭で捨てられずに困っている古いはがきや年賀状を、プライバシーを守って回収し、リサイクルします。直接回収ボックスへ入れてください。

▼設置期間 1月16日(火)〜2月19日(月)、回収時間は各施設の開館時間 ▼設置場所 柴崎福祉会館、曙福祉会館、幸福社会館、一番福祉会館、クリーンセンターたちむにい、総合リサイクルセンター3階事務室 問ごみ対策課・内線6754

第43回中学生の主張大会



夏休みの宿題に作文が三つ出た中学生の主張



田島侑弥(二中2年)

今年も夏休みの宿題に作文がでた、しかも三つだ。

去年の中学生の主張作文で、僕は「作文が苦手な人間もいるのだから宿題に出さないでほしい」と主張した筈なのだけれど、どうやら僕の主張が届かなかった。もしくは主張が届いた結果、学校の宿題担当者を怒らせた。

「らい苦手か」というと、一つの作文、原稿用紙約三枚を、一週間かけて書き終わるかどうかだから、それが三つとなると、長いと思っていた夏休みのうち三週間がもう作文で終わってしまふ。しかも、宿題のメインがそれだけなわけではなく、他の教科全てから宿題が出ている。夏休みが二ヶ月あればギリいけるかもしれないが、実際は一ヶ月くらいしかないの計算上全部こなすのは不可能だ。地獄かよ、と思う。思うというか、家の中で何度も声に出した。疲れた、もう嫌だ、地獄か、そついうと親は「まあまあ、一時間あれば作文一つできるでしょ。苦手でも、一日あればできるでしょ。それが三つなんだから、三日で終わるじゃない」と答えた。国語が得意だったらしい親は、あつち側の人間だ。僕が一時間で解

ける理科の問題は一生解けないくせに、できて当然でしょうみたいな顔をする。話を通じない。この課題を出した人もそつち側の人間かもしれない。ただ、文句を言っただけでは、小学生の主張作文になってしまふ。僕は中学生なのだから、もっと話を前に進めたい。すなわち、ではどうすれば良いのか、自分なりの提案をしたい。

さつき触れた通り、僕は他の人が簡単にできるものが十倍以上苦手だったり、逆に、他の人が苦手な教科を数倍早く解けたりする。それは多分他のクラスメイトも皆そうだろう。僕の作文と同じように、別の教科が何週間かけても終わらず、楽しい筈の夏休みを楽しめなかったり、地獄かと言ってるのかもしれない。

それなら、夏休みの宿題を選択式にしてはどうだろう。勿論、「これだけは夏休み中に復習してくれないと困る」というような必須科目はあってもいいので、それ以外は選択式にして、それぞれの生徒が好きな項目を選ぶようにしたらどうだろうか。今までやれと言われたものだけをやってきた結果、相当僕の判断力は鈍ってきているし、それは「高校はどこに行きたいのか」と親に聞かれて「知らない。わからない。どうでもいい」と答えて呆れられたほどだ。選択をする場面がない。だから、選択慣れするためにも良いと思う。

何より、これなら得意不得意が全員バラバラでも、大体同じように夏休みを楽しんで、大体同じように地獄を見ることが出来る。最高ではないか。

今年是不平や問題点を指摘するだけにせず、解決案まで書いてみた。来年は少しでも改善されて、より充実した夏休みが送れば良いなと思う。